

平成 28 年度事業・活動報告

特定非営利活動法人 旭川 NPO サポートセンター

【事業の成果】

平成 28 年度は、旭川市市民活動交流センター指定管理第 2 期目の 2 年目となりました。

ご利用いただく市民の皆様のご意見などを反映して、施設の備品や設備の充実を図ってまいりました。

また、市民活動を推進するスキルアップのための講座の開催や、法制度の変更などに伴い生じる、市民生活に密着する事柄については、市民の疑問や要望に答える形で、「電力自由化セミナー」や「個人情報保護法セミナー」などを開催してきました。

28 年度は砂川市の依頼により、砂川市市民活動入門講座及び市民活動スキルアップ講座の全 5 回を開催しました。また、自主事業として「婚活事業」を、旭川ガス様やケーブルTVポテト様などと協働で行い、参加者も多く、結婚したい未婚の男女のニーズが高いことがうかがわれました。

子育て応援ポータルサイト「カスタねっと」も全面リニューアルし、今後は情報の充実を図っていきたく存じます。例年同様、企業や行政、他のNPOなどとの連携により、様々な事業を展開することができ、スタッフのスキルアップにもつながることができました。

■事業名（旭川市指定管理事業）

旭川市市民活動交流センター指定管理業務

【目的】

旭川市市民活動交流センターCoCoDeに関して、

- 1) 施設の使用承認／管理運営／維持管理
- 2) 市民活動団体の登録
- 3) 市民活動に関する情報収集・提供／相談・コーディネート／学習機会の提供／交流及び協働の促進
- 4) その他自主事業等

【事業期間】

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター



改正個人情報保護法セミナー

【事業内容・事業成果・課題等】

1)施設の使用承認／管理運営／維持管理について

- ① 利用件数 4,159 件、利用者数 73,366 名、利用料金 8,174,340 円。
(前年度 利用件数 4,042 件、利用者数 84,296、利用料金 8,230,526 円)。
- ② 施設清掃業務、施設敷地内管理業務、点検等その他業務について所定通り実施。

2) 市民活動団体の登録について

- ① 市民活動情報サイト登録 249 件 (前年度 202 件)。
- ② 市民活動交流センター登録 (団体) 351 件 (前年度 281 件)。
- ③ 市民活動交流センター登録 (個人) 1 件 (前年度 0 件)。

3) 市民活動に関する情報収集・提供

① CoCoDe 通信の発行～毎月 900 部～1,000 部

② 利用者ニーズ把握のため、4 月と 12 月に指定管理者と利用者を代表する 6 名による会議を実施。

4) 相談・コーディネート

① 日常の相談・コーディネート～NPO 設立運営相談等。

相談総数 106 件。(内訳：個人 23 件、市民活動団体 78 件、企業 5 件)。(前年度 97 件)

5) 学習機会の提供について

① キッズワールド 2016 5/5 参加 1,800 名

「子どもが安心して学べる・遊べる空間を創ろう！」というテーマのもと、子ども達が安心して楽しめる遊びや学びの場を提供し、市民全体で子ども達の健全な育成を支援するイベントを開催した。1,800 名の来場者があり盛況だった。

② NPO/NGO の組織基盤強化のためのワークショップ 6/12 参加 40 名

日本 NPO センター/Panasonic とともに NPO/NGO のリーダーやスタッフが組織を見直すことができるよう、理論・事例紹介・組織課題を深掘していくワークを組み込んだプログラム。組織基盤強化の実践を応援する「Panasonic NPO サポートファンド」も紹介した。

③ 北海道ユニバーサル・ツーリズム・フォーラム in あさひかわ (実行委員会形式で開催)
6/17 参加 100 名

北海道では全国各地で障がいを持った方の旅行支援を目的にツアーセンターの設置やボランティアによる旅行サポートの取り組みが展開されている。本フォーラムは北海道におけるユニバーサルツーリズムをさらに推進し、ネットワークすることをテーマに実施した。

④ まちづくり探険隊 7/9 参加 9 名

地域活性化や課題解決に取り組んでいる NPO などを訪問視察し、手法やノウハウ・スキルを学び、自分たちの地域にフィードバックすることを目的に実施した。

今年は森林資源を使って、まちづくりを行っている下川町を訪れ、イベント参加し、NPO のプログラムを体験。その後、士別市の世界のめん羊館及び、鷹栖の廃校を利用して事業を行っている社会福祉法人を訪問した。参加 9 名。

⑤ ヒットする広報 (入門講座) 10/15 参加 33 名

講師：藤井公志氏 (ハートライフクリエイティブ代表)

NPO・市民団体向けに 2 回に分けて実施した広報セミナーの 1 回目。現在よく使われている SNS の LINE、LINE@、Facebook、Twitter、Instagram、Amazon 電子書籍等で、どの世代が良く使っているか、どういったアプローチができるのかなどのお話があった。

⑥ 防災セミナー 10/16 参加 15 名

講師：及川太見夫氏 (オフィス及川防災プランニング代表)

旭川で災害予防に向けた研修等をプロデュースする会社を経営する及川太美夫様をお迎えし、第一部でクロスロードゲーム、第二部で「旭川ってどんなまち？」というタイトルで、過去と現在の旭川の地図を見比べながら、旭川で起こりうる災害の特徴について学んだ。

⑦ エコドライブ 10/27 参加 10 名

北海道庁が主催し、CoCoDe が協力しているエコドライブ講習を実施した。座学と実地研修を通し、エコドライブすることにより、通常のドライブより 10%~20%程度ガソリンを節約できることを理解した。

⑧ ヒットする広報（フォローアップ講座） 11/26 参加 33 名

講師：宮前佑矢氏（株式会社コンピューター・ビジネス新規事業部新規事業推進課）

入門講座に引き続き、具体的にどのように Facebook を作成するのか順を追って説明された。Facebook にはいろいろな機能があり、コツを押さえ、目標を立てて運用することの大切さを学んだ。

⑨ 社会貢献教育セミナー 11/27 参加 21 名

東京の NPO 法人日本ファンドレイジング協会より大石俊輔氏を講師に迎え、全国 100 以上の教室で開催されている「寄付の教室」について紹介された。

⑩ 情報サイトと広報セミナー 2/3 参加 5 名

NPO 法人/市民団体を対象に情報サイトの使用方法と広報活動の基礎を説明した。また団体情報発信の具体的方法を学び、情報サイト登録後の活用を促した。

⑪ 市民活動団体・NPO 団体のための法律相談 2/25 参加 6 名

講師：今野祐一郎氏（NPOのための弁護士ネットワーク）

契約の取り交わし、イベントなどのリスク管理、個人情報の保護・管理、組織内のトラブルなど…。市民活動・NPO 法人に関する法律の事を弁護士の今野祐一郎さんを招き、無料相談を行った。

⑫ NPO 会計個別相談 3/25 参加 14 名

講師：佐藤はるみ氏（税理士）

NPO の日常の会計業務での困りごとおよび決算関係についての疑問点などについて、個別相談会を開いた。

⑬ 改正個人情報保護法セミナー 3/29 参加 270 名

講師：大箸信之氏（大箸法律事務所弁護士）

個人情報保護法の改正に伴い、これまで適用除外となっていた町内会や小規模 NPO、サークル等でも個人情報保護に留意する必要性が出てきた。弁護士の大箸様に個人情報の取り扱いで注意すべきことなどについて説明いただき、具体的な事例の対処についても学んだ。

6) 交流及び協働の促進について

① CoCoDe トークサロン 毎月 1 回 参加総数 225 名

毎月一回様々なゲストによるテーマを茶話会形式で実施。

② 北彩都ごみゼロ大作戦 4/24 参加 113 名

好天の中、周辺 5 町内会と地域に職場を持つ行政及び民間 18 団体の協力の下、総勢 113 名の方が集まり、73kg のごみが収集された。なかには飛び入り参加された方、「あることを知っていたら参加したかった」という市民もおり、来年は館内掲示もしっかりやる必要があることを感じた。

③ 新年交流会 1/14 参加 60 名

今年度の新年交流会は市民団体の他に、町内会や企業の方を招いて実施した。世代的にも高校生から高齢者まで幅広く 60 名が参加された。第一部では龍谷高校書道部の力強いパフォーマンスに会場中が魅了された。懇親会では異業種異世代間交流が盛んに行われ大変好評だった。

7) その他自主事業等について

① Light It Up Blue Asahikawa 2016 in CoCoDe 4/2 参加 261 名

世界自閉症啓発デーイベントとして旭川自閉症児者親の会主催で実施。CoCoDe においてブルーライトでライトアップし、コンサート等の様々な企画を通して啓発活動を行った。

② CoCoDe で見つける！ぷち出逢い体験 6/18 参加 40 名

婚活初心者を対象に約 1 時間の簡単な婚活イベントを開催した。回転式の自己紹介やビンゴゲームなどのイベントを盛り込み、グループ対抗のインスピレーションゲームなどで交流を深めた。

③ キャンドルナイト in 旭川 6/18 参加 180 名

毎年夏至に合わせて行う温暖化防止をアピールする環境イベント。ミュージックフェスタでは旭川を中心に活躍する児玉梨奈さんと、アベルジャズ同好会をゲストにお迎えした。館内ではエコイベントのぼくりっこ市や蜜蝋キャンドル作りを実施したほか、ゆいゆい本舗様によるスローフードの販売も実施した。また、施設内外にキャンドルを多数設置し、エコでスローな時間を演出した。

④ 大雪ツーデーウォーク 7/9～7/10 参加 1,100 名

7 月 9 日と 10 日両日にわたって実施。全国から 1,100 名もの参加があった。途中、かなり強い雨も降ったが、総じて好評で、本州から来たと思われる参加者から「旭川、気に入った。」という声も聞かれた。

⑤ 楽市楽座 7/27～8/1 参加 120 名

一家 3 人で全国行脚をする野外劇団の楽市楽座。水に浮かんだ回り舞台の上で公演を行い、面白いと思った聴衆が投げ銭をするという変わった舞台。今回は風変わりなメス達が徒党を組んでいく物語「ヨイショ、コラショ」を上演。日替わりでゲストもあり、とても楽しい舞台となった。

⑥ CoCoDe まつり 11/3 参加 1,239 名

市民活動団体の皆さまに活動成果を発表する場を設け、市民に団体の活動を知っていただく機会とし、市民の活動への参加を促すこと、また団体同士の交流を深め、協働へのきっかけ作りとすることを目的で行った。

⑦ クリスマスマーケット&キャンドルナイト 12/17 参加 690 名

当日はクリスマスマーケットとキャンドルナイトを同時開催することにより、マーケットを目的に来場された多くの方々にキャンドルナイトというイベントについて啓発することができた。ミュージックフェスタは、ウクレレユニットコアリノ、ソロピアノ米田勝信氏、パーカッションアンサンブル Forest の演奏を多くの市民に楽しんでもらった。公益財団法人北海道環境財団が提供したプログラム、足湯をつくろう、パネルシアター等を通して、子どもたちをはじめとする多くの市民に地球温暖化について知識と理解を深め

てもらふことができた。

⑧ あさひかわ雪あかり 2017 2/4～2/12 参加 279名

旭川冬まつりに合わせて行う、市民や行政、企業、NPOなどが協働で取り組む手づくりのイベント。寒い旭川の冬を幻想的な雪あかりの下で楽しむ、心暖まる優しいイベント。

■事業名 (旭川市及び周辺7町委託事業)

ファミリーサポートセンター・上川中部子ども緊急サポートネットワーク事業



■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

旭川市より受託したファミリーサポートセンター「育児型」は子育ての援助を受けたい方と援助を行いたい方が会員になり、お互いに地域の中で助け合いながら子育てをする会員制の相互援助活動を行う。また1市7町から受託した「上川中部子ども緊急さぼねっと」は宿泊を含め、臨時的・突発的なニーズに、予め登録している地域の人が子どもを預かる事業で、子どもを預かって欲しい人との橋渡しを行うことにより、地域の子育て支援・児童の福祉の向上を図る。



【事業期間】

平成28年4月1日～平成29年3月31日

◎ファミリーサポートセンター「育児型」

- 1) 会員の募集、登録業務
- 2) ハローワーク、保育所、学童保育施設等に周知広報

事業説明会 ① 10月8日(土) 10:00～12:00 永山公民館 参加者2組
② 2月4日(土) 10:00～12:00 末広あつまーる 参加者8組

- 3) 提供会員登録時の子育て支援者養成講座年2回実施(上川中部子ども緊急さぼねっと合同)

日程:前期5月24日.25日 ・ 後期10月14日.17日

講座数:6講座、9時間

参加者:前期38名(聴講2名) ・ 後期26名(聴講4名)

- 4) 依頼会員と提供会員の事前打ち合わせの調整
- 5) 依頼時の相互援助の連絡調整
- 6) 会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための意見交流会実施
「わらべうたであそぼう」

日時: H29年1月30日(月) 10:00～11:30

場所: 旭川市市民活動交流センター

講師: 山下 真実氏(末広こまどり保育園園長)

参加者: 29名

- 7) 関係機関等との情報交換、連携を図るための会議

8) サブリーダーの情報交換を行うサブリーダー会議毎月実施

9) 提供会員のレベルアップ講習会実施

「おひなまつりをお祝いしよう」

日 時：H29年2月6日（金）「上川中部こども緊急さぼねっと」合同研修会

講 師：岡本 千晴氏（旭川大学短期大学部幼児教育学科子どもの食と栄養非常勤講師）

参加者：36名

10) 月毎に市へ報告及び助成請求

11) 年1回通信発行

【事業成果・課題】

1) 会員数 依頼会員 1,132名

提供会員 243名

両方会員 102名

総会員数 1,477名

2) 依頼総件数 3,782件（キャンセル 43件）

援助総件数 3,739件（H27年度 2,843件）

① 保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り 885件

② 保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり 1,281件

③ 保育所・幼稚園の帰宅後の預かり 72件

④ 学童の放課後の預かり 39件

⑤ 学童保育の迎え及び帰宅後の預かり 52件

⑥ 学童保育から帰宅後の預かり 10件

⑦ 子供の病気時の援助 0件

⑧ 子供の習い事等の場合の援助 834件

⑨ 保育所・学校等の休み時の援助 266件

⑩ 保護者等の外出の場合の援助 31件

⑪ 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 56件

⑫ 保護者等の他の子どもの学校行事の場合の援助 25件

⑬ その他 188件

◎上川中部こども緊急さぼねっと

【事業内容】

1) 利用会員拡大のため、1市7町及びハローワーク、保育所、学童保育施設等に周知広報

①出張事業説明会

◇ 10月8日（土）10:00～12:00 永山公民館 参加者2組

◇ 2月4日（土）10:00～12:00 末広あつまーる 参加者8組

②旭川市事業「うぶごえの贈りもの」で出産祝いに絵本のプレゼントがある。絵本配布時ファミリーサポートセンターのパンフレットも一緒に配布できるよう依頼

2) スタッフ会員登録のための子育て支援者養成講座年2回実施（ファミリーサポートセンター合同）

日 程：前期 5月24,25,27,30,6/1,3日

後期 10月14,17,19,21,26,27日

講座数：13講座、28時間

参加者：前期 5月 34名（聴講3名） ・ 後期 10月 26名（聴講4名）

3) スタッフ会員に対して年2回レベルアップ講習会実施

①日 時：11月30日（水）

テーマ：「産後の心のケア」

講師：上出 千枝氏（旭川市子ども総合相談センター 保健師）

②日 時；H29年2月6日（月）「ファミリーサポートセンター」と合同研修

テーマ：「おひなさまをお祝いしよう」

講師：岡本 千晴氏

（旭川大学短期大学部幼児教育学科子どもの食と栄養 非常勤講師）

参加者：36名

4) 利用会員入会手続及びスタッフ会員更新手続業務

5) 依頼時の利用会員とスタッフ会員の連絡調

6) 関係機関等との情報交換、連携を図るための会議

7) 月毎に市へ報告及び助成申請

8) 年1回さぼねっと通信「育輪（いくわ）」発行

9) スタッフ交流会（東神楽町8月31日・東川町29年1月25日）

10) 月1回「すりーAの会」実施（開催日不定）

開催：7回（研修会、意見交流会等）

参加者：延98名

【事業成果・課題等】

1) 会員数	利用会員	962名
	スタッフ会員	147名
	<u>総会員数</u>	<u>1,109名</u>

2) 依頼総件数 1,476件

コーディネート件数 1,297件（前年度864件）

病気預かり 320件

宿泊 103件

元気預かり 863件

送迎 5件

キャンセル 179件（コーディネート後当日又は翌朝に連絡のあったもの）

ファミリーサポートセンター「育児型」援助総数は前年度に比べて30%以上の増加がみられた。これは旭川市の子育て全世帯で5割、非課税世帯とひとり親世帯には8割の助成制度があり、制度が市民に浸透していったと推測できる。一方で保育園、幼稚園の送迎はもとより、おけいこ事や塾通いなど、リスクを伴う自家用車での送迎依頼が増え、気軽にタクシー代わりに利用されているのではと疑問視する。車での送迎はリスクを伴うことから提供会員から拒否されることもありマッチングの難しさに直面している。子どもタクシーの様な送迎システムがあるのが理想と思われる。帯広市や他の地方でも子どもタクシーを実施しているところもあり、情報収集や

視察訪問等も考えている。

旭川市としても、会員のおけいこ事、塾送迎の利用には疑問を投げかけているのが現状である。

上川中部こども緊急さぼねっこの利用は昨年度より5割強増加している。旭川市は助成の枠を全世帯（ひとり親世帯8割、その他世帯5割）に広げたために利用しやすくなった。しかし、これらの事業はまだ認知度が低く周知活動に力を注ぐ必要があり、本年度は永山地区と末広地区の2カ所で事業説明会を開催した。また、旭川市の「うぶごえのおくりもの」事業で出産時に絵本のプレゼントがあり、その際にファミリーサポートセンターのパンフレットを一緒に配布することの了承を得ることができた。

H28年子育て支援者養成講座プログラム

子育て支援とは	旭川市子育て支援部子育て相談課	
身体の発育と病気	北海道療育園園長	林 時仲 氏
心の発達とその問題	旭川赤十字病院第1小児科部長	諏訪 清隆 氏
病児・病後児保育の基礎	道立旭川高等看護学院地域看護学科	佐藤 由香里氏
病児・病後児保育の基礎	保健師	上出 千枝 氏
保育の心	末広こまどり保育園園長	山下 真実 氏
子どもの遊び	北海道子育て支援ワーカーズ	木場 いずみ氏
子どもの遊び	北海道子育て支援ワーカーズ	木場 いずみ氏
子どもの世話	旭川市立神楽保育所所長	武田 治恵 氏
子どもの栄養と食生活	管理栄養士	幸正 直子 氏
子どもの安全と事故	日本赤十字社幼児安全法指導員	田中 久子 氏
事業概要	旭川NPOサポートセンター	
望まれている支援のあり方	旭川NPOサポートセンター	

■事業名 (旭川市委託事業)
旭川市母子家庭等日常生活支援事業

■NPO法人旭川NPOサポートセンター

【目的】

様々な事由により、一時的に日常生活に支障が生じている場合や生活環境等の激変により、日常生活を営むのに特に大きな支障が生じている場合に、その生活を支援する者を派遣するなどして、母子家庭及び父子家庭の生活の安定を図ることを目的としている。

【事業期間】

平成28年4月1日～平成29年3月31日

【事業内容】

- 1) 依頼時の利用者と家庭生活支援員の生活援助及び子育て支援の連絡調整実施
- 2) 関係機関との情報交換、連携を図るための会議実施
- 3) 月毎に市へ報告及び利用料の申請実施
- 4) 家庭生活支援員資格者の手続き実施

【事業成果・課題】

① 利用者数

利用会員登録 29名 (前年度 38名)

家庭生活支援員 19名

子育て支援員 34名

② 利用状況 359件 (前年度 355件)

生活支援 271件 (前年度 264件)

子育て支援 78件 (前年度 85件)

宿泊 10件 (前年度 6件)

本年度は例年より利用会員の登録が少なかった。ひとり親になり、生活の不安や子育ての不安を抱えている利用者も多く、また精神疾患で通院している方も多い。特に住居環境が悪く、生活支援では住居の清掃に多くの時間を費やすことになる。

旭川市としては緊急性を要することを重視して欲しいとのことで、依頼時には事情の把握に努めた。

■ 事業名 (旭川市委託事業)

子育て交流活動推進事業実施業務

■ NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

子育ては親だけでなく、地域社会全体の支えが大切ということから、子育てに関する、様々な関係機関や団体などが連携して、保育所や、幼稚園に通っていない児童を家庭において養育している全ての保護者がいつでも子育てについて相談でき、また、保護者同士や子育て経験者等と交流できる環境づくりを行う。

旭川市内には子育て中の親が自主的に活動する育児サークルや、地域住民で子育てを支援する子育てサロンがあり、そうした団体に対して、活動の際の会場費の補助を行う。また子育て支援を望む団体・個人が人材バンクに登録し、育児サークルや子育てサロンに託児や、特技等でサポートを行う際の、コーディネートを行い、子育て環境の充実に寄与する。



【事業期間】平成 28 年 4 月 1 日～29 年 3 月 31 日

【事業内容・事業成果】

1) 登録している育児サークルに対する支援を地域子育て支援センターと連携して行う。

会場費補助 172 件、 179,578 円

2) 育児サークル合同イベントの実施。

日 程 H28 年 8 月 26 日 (金) 10:00～12:00

会 場 旭川市障害者福祉センター おびった

参加者 子ども 123 名 大人 121 名

3) 育児サークルへの支援員の派遣

派遣数 14 件

派遣者数 36 名

4) 育児サークル事業説明会の実施 2回

会 場 旭川市市民活動交流センター CoCoDe

日 程 ① H28年 6月 8日 (水) 10:00~12:00 14名

② H28年 11月 7日 (月) 10:00~12:00 8名

5) 子育てサロンへの支援

会場費補助 54件、 88,200円

派遣数 2件

派遣者数 5名

6) 子育てサロン意見交換会の実施 2回

会 場 旭川市市民活動交流センター CoCoDe

日 程 ① H28年 6月 15日 (水) 10:00~12:00 16名

② H29年 2月 6日 (月) 10:00~12:00 21名

7) その他の支援

子育て支援センター、児童センター、留守家庭児童会、市立保育所、保健所等

派遣数 109件

派遣者数 256名

8) 子育て人材バンクの登録 105名

9) 育児サークル・子育てサロンの支援に関するニーズ調査及び分析

サークルは保育園や満3歳で幼稚園入園可能なこともあり、会員不足で解散、休会が出はじめています。サークルが魅ながら、また子育て支援センターの先生方の協力を得ながら支援をしていく。また、サロン等も運営費不足などの現状もあるが、今後は旭川市の補助を得る川市の補助を得られるよう支援を押し量りながら継続につなげていきたい。

■ 事業名 (社団法人北海道医師会)

北海道に在住する医師を対象とした緊急時保育支援事業

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

子育て中の医師の仕事と家庭を両立させるためのサポートで、利用者が緊急に支援を必要とするとき、北海道医師会が利用者に代わって旭川 NPO サポートセンターに依頼するもので、女性医師等の働く環境を整えることによりキャリアの継続に寄与することを目的とする。

【事業期間】平成 28年 4月 1日~平成 29年 3月 31日

【事業内容・事業成果】

1) 事業内容は上川中部こども緊急さぼねつとに準ずる。

登録医師 16名

利用者数 4名

利用件数 10件

2) 登録にあたっては、ファミリーサポートセンターの登録時に情報提供し、入会登録を促す。旭川市においてはファミリーサポートセンター事業が充実しており、助成制度もある。加えて、北海道医師会からの利用券制度もあることから、女性医師等にとってはキャリア継続できる環境が整えられつつある。

■事業名

産前産後ケア

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

赤ちゃんとの対面で喜び、楽しいはずの出産が、出産後に情緒不安定、不眠、不安、ふさぎ込む、注意散漫、イライラ等、産後うつになっていく母親が少なからずいる。核家族化が進み、希薄な人間関係の中、母親自身の経験不足などで出産・育児が辛いものになってきている。育児支援を実施している中で、産前産後、不安でいっぱいの母親への寄り添う支援の必要性を感じてきた。子育て経験者である支援者だからできるお手伝いによって、そうした母親への自信に寄与することを目的とする。

【事業期間】平成28年4月1日～平成29年3月31日

【事業内容】

1) スタッフ研修（上川中部子ども緊急さぼねっとのスタッフ希望者）

日時：12月7日（水）10:00～12:00

会場：旭川市市民活動交流センターCoCoDe、

講師：北田 恵美氏（助産院 あゆる）

- ・スタッフ研修を続け、チラシ作り、ファミリーサポートセンターの登録者に案内、配布
- ・旭川医科大学看護学科助産師の協力
- ・産前・産後ケア登録者もあり、次年度には事業としてスタートになる予定。

■事業名 (砂川市協力事業)

砂川市市民活動入門講座&市民活動ステップアップ講座

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

砂川市民対象に、市民活動や地域活動に参加して頂くために、その意義や役割などの基礎知識や各地の事例などを含め、地域で活躍するためのノウハウについて学ぶ。

【事業期間】

市民活動入門講座

7月6日(水) 18:00~20:00

7月13日(水) 18:00~20:00

7月20日(水) 18:00~20:00

市民活動パワーアップ講座

9月1日(木) 18:00~20:00

9月8日(木) 18:00~20:00

【事業内容】

入門講座

- 1) 講師：吉岡宏高氏（札幌国際大学観光学部 教授）
- 2) テーマ：第1回目 “ある”ものを使って“ない”ことをする/市民活動の原点
第2回目 普通のを特別なものに変える“コンセプト”
第3回目 “もの”から“コト”へ、ストーリーの大切さ/活動が動き出すための仲間を作る秘訣

3) 会場：砂川市地域交流センターゆう

4) 参加者：33名

市民活動パワーアップ講座

1) 講師：佐藤 隆 氏（北海道ふるさと回帰支援センター理事長）

- 2) テーマ：第1回目 コミュニティビジネスを考えてみよう
第2回目 コミュニティビジネスを実行してみよう

3) 会場：砂川市地域交流センターゆう

4) 参加者：15名

■事業名 電力自由化セミナー

～あなたはどの電気を選びますか？～

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

2016年4月より電力自由化により、地域で決められた電力会社だけではなく、新たに参入する電力会社と契約を結べるようになった。電力自由化によって何がどう変わるのか、メリットやデメリットなどについても学ぶ。

【事業期間】

4月13日(水) 13:30~15:20

【事業内容】

1部 13:30~14:15 電力自由化とは

1) 講師：吉田雄志氏（北海道経済産業局電力取引監視室室長補佐）

2部 14:20~15:40 小売全面自由化への対応について

1) 講師：原口和久氏（北海道電力(株)旭川支店お客様センターグループリーダー）

講師：木暮明大氏（株式会社トドック電力 専務取締役/株式会社エネコープ 常務

取締役)

講師：渡部真也氏（株式会社エゾデン取締役）

2) 会場：旭川市市民活動交流センターC o C o D e

3) 参加者：36名

■事業名 旭川ガスと旭川NPOサポートセンターのコラボレーション事業
ピザコン

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

結婚を希望する未婚の男女に、料理することを通して参加者同士の交流とコミュニケーションを図り、良い出逢いの場を提供する。

【事業期間】 9月24日（土）10：00～13：00

【事業内容】

1) 講師：佐々木 篤氏（ダイニングポシェオーナーシェフ）

2) 料理：ピザ作成

3) 会場：旭川ガス2階ふれあいプラザ（旭川市4条16丁目）

4) 参加者：20代～40代 18名

マッチング 3組

■事業名 （主催：旭川ケーブルテレビ 共催：国立青少年大雪交流の家）
たいせつなマジ婚

■共催事業

【目的】

1泊2日で、結婚したい未婚の男女がコミュニケーションをとり、より良いパートナーと出逢うための場を提供。

【事業期間】

10月22日（土）13：00～10月23日（日）12：00

【事業内容】

1) プログラム：1日目

①アイスブレイク

②お見合い回転寿司

③ワールドカフェ

④コミュニケーションタイム

2日目

①スポーツ交流

2) 会場：美瑛町国立青少年大雪交流の家

3) 参加者：20代～40代 48名

カップル成立数 15組

■事業名 (実施主体：福島県 事業管理者：一般社団法人ふくしま連携復興センター
受託事業者：NPO法人北海道NPOサポートセンター)
平成28年度福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業

■協力事業

【目的】

福島県から北海道へ避難されている皆様に、相談や交流会を通じて、様々な思い・悩みを持っている避難者の方々の生活がより豊かになるための支援事業。

【事業期間】

7月18日(月・祝) 10:45~13:45

【事業内容】

第1部 福島県からの情報提供&質疑応答

第2部 交流会

①新たな取り組みを始めた方の体験談

②NPOの活動紹介

会場：旭川市市民活動交流センターCoCoDe 会議研修室

参加者：21名

■事業名

旭川市環境アドバイザー派遣事業

■協力事業

【目的】旭川市に環境アドバイザーとして登録し、環境に関わるプログラムを提供し、市民に環境保全に対する理解を深める

【事業期間】

① 8月23日(火) 13:00~15:00

② 8月30日(火) 13:00~15:00

【事業内容】

1) プログラム

地球温暖化の現状の話とエコバック作成

2) 会場

末広公民館

3) 参加者

百寿大学受講者 50名